

授業支援 for Chrome 活用事例の紹介

小学
6年生

社会

児童の考えが変わる瞬間を 見える化した授業の事例

モニタリング

配布回収

Win Bird 授業支援 のモニタリング機能を有効的に使った授業例です。

準備

先生はWinBird授業支援を起動し、児童はまだタブレットを閉じています。

導入

まずは板書中心の授業を進め、児童は授業のテーマについての自分の考えをまずはノートまとめます。

展開

児童はタブレットを起動し、先生が **配布回収** で児童にスライドを配ります。

ここがPOINT！

配布回収 で配布されたスライドは、児童端末で自動的に開かせることができるので、すぐに課題に取り組むことができます。

このスライドにはシート1つにつきキーワードが1つ書かれていて、児童は自分の考えにあったキーワードをタブレット画面に表示します。

すると、**モニタリング** でどの児童がどのキーワードを選んでいるかが一目でわかります。

このとき先生は **モニタリング** の画面を写真に撮っていました。

ここから児童には、自分の同じキーワードの児童3人に意見を聞き、さらに自分と違うキーワードの児童3人にも意見を聞きます。

モニタリング 画面があるので、誰に意見を聞けば良いのか一目瞭然です。

活用事例公開中！



授業支援 for Chrome 活用事例の紹介

発表

意見交換の結果を受けて、あらためて自分のキーワード（意見）について考えてもらいます。

ここがPOINT！

モニタリング 画面に注目していると、何回も意見を変える児童、2択で迷っている児童、一度も意見を変えない児童と、リアルタイムにその様子が分かるので考え方の違いや傾向がとても分かりやすいです。

そして、先生は事前に撮影した写真を見比べ、意見を変えた児童に「なぜ意見を変えたのか」、さらに意見を変えなかった児童に「なぜ意見を変えなかったのか」を発表してもらいます。

まとめ

今日の授業の振り返り自分の考えをまとめます。【導入】時に書いた内容と比較することで、児童自身の学びがより深まります。

実際の授業の様子

モニタリング



発表の様子



活用事例公開中！

